

●第2回定例市議会で、私は夢と希望を与える八王子の教育をテーマに、中間報告のなされた国の中央教育審議会（中教審）—地方教育行政の存り方—について、本市の教育現場に照して一般質問をしました。

小・中 106校を抱える本市では、教育委員会の目が十分に届かず、子供達が楽しみにしている学校行事が省略されたり、PTAの末組織校が数多くあったりと学校間の格差が目立ちます。もちろん学校ごとの個性や特色はあっていいのですが、授業内容や進度に学校間クラス間で差が生じており、学校や先生を選べない子供達に平等な教育内容が保証されるよう嚴重な指導を求めました。

中教審でも指摘されている、とかく閉鎖的になりがちな学校に情報公開をすすめさせ、行政と学校と保護者、地域住民との共通理解のもと一体となって子供達を育てていく環境づくりが今後の課題です。

●総務企画委員会では、岐阜市、金沢市へ中核市の視察へお伺いしました。先進の両市とも移行前に大胆な人員削減と責極的な民間委託など目に見える行政改革を進めていましたし、交付金による財政支援が国からなされ、不交付団体である本市としては根本から条件が異なりました。市長サイドは中核市移行が活力ある街づくりの特効薬のようなPRをしますが、ただ移行を急ぐのではなく、まずは内部努力を進め市民に行革の成果を示すことが先と改めて感じました。

●私にとりましては母と兄のようにどちらも親しくご指導をいただいていた小野清子議員と塚原こうじ都議が来月の参議院選に挑みません。身体ふたつで応援したい思いですが、党の三多摩青年部長の立場で同世代で劣勢におかれている塚原陣営の責任者の一人となりました。

二名当選ができますよう皆様のご支援をお願い申し上げます。

八王子市議会議員 萩生田 光一

平成10年6月

八王子市曙町1-33-4 (〒192-0043) ☎46-3008・27-3233 F A X 28-2468

K. TAKEUCHI